



## 合田大使の JDS 14 期生帰国報告会出席

1月26日、合田大使は、2022年9月にキルギスに帰国した「人材育成奨学計画（JDS）」14期生による帰国報告会に出席しました。14期生を代表して4人が修士論文に関するプレゼンテーション及び参加者との質疑応答を行いました。

JDS は世界17カ国の若手行政官を対象として、日本での修士・博士号取得を支援する奨学金プログラムです。キルギスは2007年に1期生を送り出し、これまでに228人がキルギスに帰国するとともに、現在40人が日本で学んでいます。JDS 生の大部分が帰国後、政府機関で勤務し、キルギスの社会経済発展に日々貢献しています。

14期生は新型コロナウイルス感染症流行の影響により、1年以上来日が叶わなかった代でありました。合田大使は困難な状況にも関わらず大学院を修了した卒業生を称え、日本の良き友人である JDS 生が二国間友好関係の強化に貢献してくれるよう望むと述べました。また合田大使は、JDS の最も重要な成果は、卒業生が日本で得た知識と経験をキルギスで実際に政策策定・実行に活かすことができることであり、日本大使館は国家公務員・地方自治体庁、JICA、JICE、JDS Alumni Association と協働し、更なる JDS 生の待遇改善に努める旨を表明しました。

